

硬直した財政からの脱却！！

「今」を見つめ直し、市民と歩む確かな改革の実現に向けて

湖南市公共施設白書を公表します

■趣旨・目的

本市は、合併市であることから、庁舎や出張所、社会教育施設、福祉施設や観光施設など、旧町で整備された多くの公共施設を継承しており、施設の中には、類似・重複しているものや市民ニーズの変化に伴い設置意義が薄れているものがあるなど、非効率な状況となっています。

また、これらの施設の中には老朽化が著しいものも少なくなく、間もなく大規模修繕・更新の時期を迎えるなど、財政的にも大きな負担となることが予測されています。

今後、本市を取り巻く環境が一層厳しくなる中で、人口構造の変化に伴う市民ニーズを的確に把握し、公共施設の適正な配置や効率的な管理運営、施設の長寿命化等、公共施設の最適化を計画的・効果的に実現する公共施設マネジメントを実践することが求められています。

湖南市公共施設白書は、公共施設のサービス、施設の老朽化、管理運営、コストなどの客観的な情報を整理・分析し、公共施設の最適化に向けた今後のあり方を検討するための基礎資料として作成し、今後、具体的な検討へとつなげていくものです。

■内容

この白書においては、本市が保有する建物（民間等から借用している建物を含む。）を有する施設を公共施設として定義します。

なお、調査・分析の対象とする公共施設は、道路、橋梁等のインフラ施設、公園などを除く建物、いわゆる「ハコモノ」施設であり、平成 25 年度に取りまとめた「固定資産台帳」より把握したものです。ただし、簡易的な設備（簡易トイレ等）が設置されている施設（一部のグラウンド等）については、今回の調査・分析の対象外としています。（平成 26 年 3 月末時点）

本書で対象とする公共施設の数、138 施設、366 棟、延床面積の合計は 20 万 592.5 m²となっています。

将来費用の試算

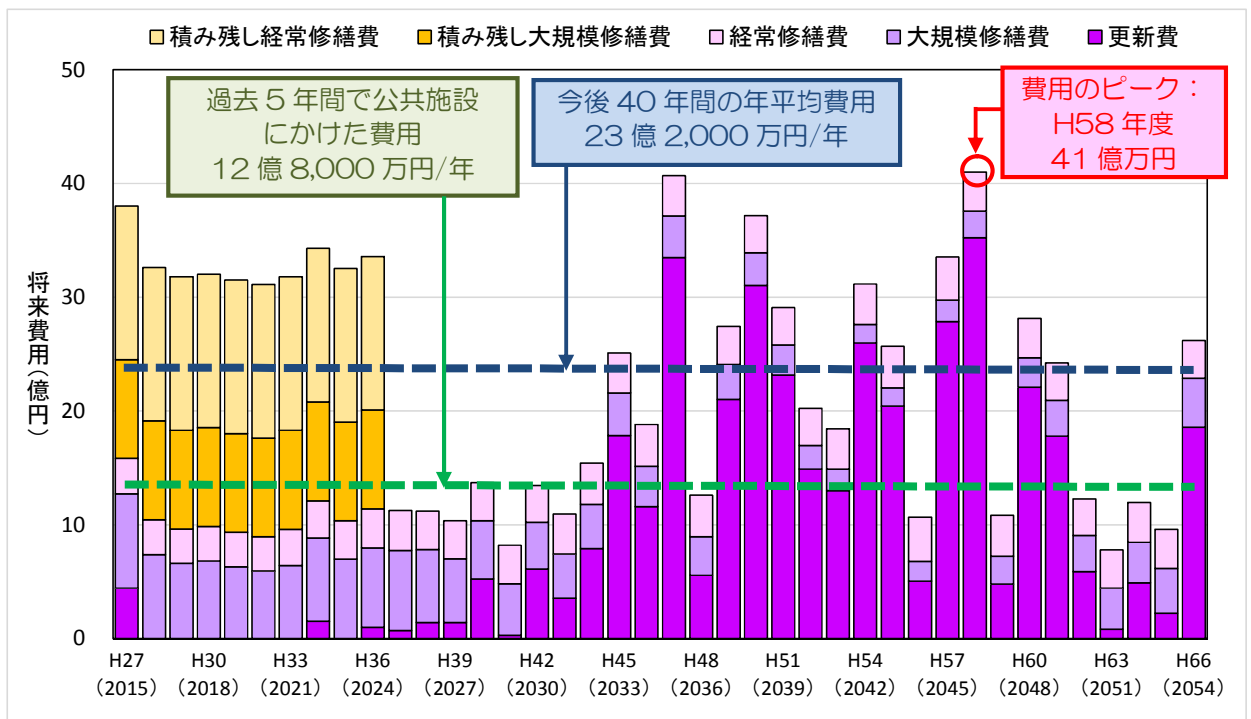
経常修繕、大規模修繕及び更新に係る将来費用が財政に及ぼす影響

本市では、建設後 30 年以上経過し、老朽化が懸念されている施設（建物棟別）が全体の約 51.7%を占めています。

全ての施設を現行の状態を更新した場合の今後 40 年間の経常修繕費、大規模修繕費及び更新費に係る将来費用を、設定した条件により試算した結果、平成 40 年代後半に急増し、平成 58 年度のピーク時には約 41 億円の費用がかかり、40 年間の総費用は約 926 億 6,000 万円、1 年当たりの平均費用は約 23 億 2,000 万円となる試算結果となりました。

一方、過去 5 年で公共施設にかけた費用（普通建設事業費+維持修繕費）の平均は、約 12 億 9,000 万円となり、今後 40 年間で必要となる費用はこれまでの約 1.8 倍の費用が必要となります。

図表 将来費用の推移(40年間)



今後の公共施設マネジメントの進め方

今後は、人口動向や少子高齢化による人口構成の変化、ライフスタイルの多様化等に伴う公共サービスに対する市民ニーズ（質と量）の変化を捉え、限られた財源や資産をより有効活用していくため、公共施設のあり方について、市民の皆さんと十分に話し合いながら、公共施設全体の最適化を目指していきます。

平成 27 年度 湖南省公共施設等総合管理計画（素案）の策定

「湖南省公共施設白書」を基礎資料とし、住民アンケートの実施等により市民ニーズを把握するとともに、公共施設の配置状況等を踏まえて、再編・再配置等の全体方針となる「**湖南省公共施設等総合管理計画(素案)**」を策定します。

湖南省公共施設等総合管理計画の中では、インフラ施設に関する基本方針等についても検討していきます。

公共施設マネジメントの個別計画の策定

「湖南省公共施設等総合管理計画（素案）」で示した全体方針に基づき、施設を保有する各所管課で、「**公共施設マネジメントの個別計画**」（個別の詳細計画）を策定していきます。

※詳細につきましてはホームページをご覧ください。

■問い合わせ

担当課名:財政課行政改革推進室

担当者名:伊東

(直通)0748-71-2340

(FAX)0748-72-3390

Konam City

〒520-3288

滋賀県湖南省中央一丁目1番地

湖南省役所 秘書広報課

TEL 0748-71-2314 FAX 0748-72-1467